



過去最大級のデキャンタ・ワールド・ワイン・アワーズ2022

世界最大で最も権威のあるワインコンペティションの結果発表

6月7日ロンドン: デキャンタ・ワールド・ワイン・アワーズ(DWWA)2022の結果が発表されました。世界的に著名な生産者の堂々たる勝利や新興産地からの驚きの受賞が明らかになりました。54カ国から1万8,244本のワインが出品され、過去最多の試飲数を記録しました。

今回で19年目を迎えた DWWA は、グローバル展開する、世界最大で最も権威のあるワインコンペティションです。世界中から集まる傑出したワイン専門家による厳格な審査を通して執り行なわれており、国際的信頼を集めています。今年は、41名のマスター・オブ・ワインと13名のマスター・ソムリエを含む約250名の専門家が審査員を務めました。4月にロンドンで行われた2週間に及ぶ審査に続き、最終ラウンドでは、金賞ワインが、生産国、地域、小地域、葡萄品種、生産年、価格帯別に再分類され、リージョナル・チェアとコ・チェア審査員によって再度試飲されました。そして、最高のワインがプラチナ賞に昇格されました。

今年の DWWA では、プラチナ賞に163のワイン、金賞に678のワインが選ばれ、その割合はそれぞれ試飲ワイン総数の0.9%、3.7%に当たります。そして、プラチナ賞の内50のワインだけが、栄誉あるベスト・イン・ショウ賞を獲得しました。

日本の甲州がプラチナ賞を獲得

DWWA2022において、日本は1つのプラチナ賞、4つの金賞、15の銀賞と33の銅賞に輝きました。プラチナ賞を獲得したのは、九州地方の甲州ワイン、*安心院ワイン 諸矢 甲州 2021*です。九州のワインとして、DWWA 初受賞となりました。4つの金賞の内3つは、山梨県の甲州ワインです。*シャトーマルス 甲州 ヴェルディーニョ 2021*、*グラン・シャンモリ ブラン アッサンブラージュ 2021*、*サントリー ジャパンプレミアム 甲州 2019*が受賞しました。あと1つの金賞は、晩生品種のブラウフレンキッシュで、北海道のキャメルファームワイナリー *ブラウフレンキッシュ プライベートリザーブ 2020*が受賞しました。

コ・チェア審査員を務めたマスター・ソムリエのロナン・セイバン氏は次のように述べています。「これらの受賞ワインは、それが銅賞でも、銀、金、プラチナ、ベスト・イン・ショウでも、業界の多くの人の手を介し、試飲審査を通して評価されて、メダルを受賞するに至りました。その上で、プラチナ賞にまでに上り詰めるというのは、真に最高峰という事です。」



審査方法の一つとして、価格帯を重視している点も DWWA の特徴です。2022年は、10のワインがヴァリュール・ベスト・イン・ショウに選ばれました。小売価格15ポンド以下の、スペイン、フランス、チリ、イタリア、アルゼンチンとポルトガルのワインが受賞しました。チリのカリニャン、ボルドーのカベルネ・ソーヴィニヨン、メンドーザのカベルネ・フランなどです。

コ・チェア審査員でマスター・オブ・ワインのサラ・ジェーン・エヴァンス氏はこう述べています。「私達は皆、今とても価格に敏感になり、ヴァリュールを求めています。ヴァリュールワインが、50ポンド以上するワインの ような複雑味を備えている事は滅多にありません。それでも、素晴らしく美味しい果実味は伝わり、その ワインの土壌を感じられる、私達はこういった事を大切にしています。」

DWWA2022: 驚きの年

ウクライナから Beykush Winery Reserve Chardonnay 2019 が金賞に輝きました。出品されたワインはハンガリーを経由し、[ロンドンのデキャンタまで協力者により手渡しで届けられました](#)。権威ある賞の受賞は輸出を促進させ、重要な収入源になるだろうという思いからです。アンドラからも今回初エントリーがあり、Borda Sabate, Escol Riesling 2016 が銅賞を受賞しました。アルメニアからは、Noa, Noah of Areni 2019 が金賞を獲得。同国は DWWA2019から5つ目の金賞受賞となり、今後も目が離せない生産国 と言えるでしょう。中国も今年は17の金賞に輝き、注目すべき国です。

DWWA2022のハイライト

フランスは10のベスト・イン・ショウを受賞し、2つのヴァリュール・ベスト・イン・ショウはボルドーから選ばれました。受賞した Savas, Cuvée Eva, Bordeaux Blanc 2020 について、審査員はこう述べています。『ボルドーは、お値打ちソーヴィニヨン・ブランで有名な地域ではありませんが…この価格帯で品のある果実味というのは珍しく、ソーヴィニヨンファンが味わって楽しめるワインです。』

イタリアも8つ受賞し、このカテゴリーで二番目の好成績を収めました。

オーストラリアも6つのベスト・イン・ショウに輝き、ニューワールドの中では、トップの成績でした。

オレンジワインも特筆すべき結果を出しました。クロアチア、ジョージア、イタリア、フランスが6つの金賞を受賞し、プラチナ賞は、クロアチアのリースリングとマンツォーニ・ビアンコからなる Dvorska Šoškić, Haiku, Plešivica, Continental, Croatia 2019 が獲得しました。ロゼワインも好成績を収めました。ベスト・イン・ショウには、Hacienda López De Haro, Classica Rosado, Rioja, Spain 2009

が選ばれ、ロゼは2つのプラチナ賞と9つの金賞に輝き、その内プロヴァンスが4つの金賞を獲得しました。

全受賞ワインリストはこちらをご参照ください: awards.decanter.com



ご希望があれば、デキャンタ・ワールド・ワイン・アワーズのコ・チェア審査員と主要な担当者がインタビューに応じさせていただきます。インタビューのアレンジは下記までお問い合わせください。

DWWA 審査員リスト: <https://www.decanter.com/awards-home/the-dwwa-judges/>

お問い合わせ先:

sally_cheng@eclatintl.com

beatrice_ng@eclatintl.com

編集者各位:

審査の流れについてはこちらをご覧ください: [Decanter World Wine Awards: Journey of the bottle](#)

DWWA について

2004年に始まり今年で19回目のデキャンタ・ワールド・ワイン・アワーズ(DWWA)は世界最大で最も権威のあるワインコンペティションです。世界有数のワインメディアブランドであるデキャンタが、ワイン消費者と業界の皆様と培ってきた国際的な信頼関係により、DWWA は他のコンペティションとは一線を画します。サステナビリティは、DWWA チームにとって重要視している点です。全てのプラスチックと段ボールは回収され再利用されます。また、全てのワインボトルは破碎し再溶融され、30日以内に再生ガラスへと生まれ変わります。余ったワインも全て集められリサイクルし、電力ガス会社のナショナル・グリッドに燃料として売却されます。

デキャンタについて

デキャンタは、紙媒体、デジタル、ソーシャルメディアを通して、月間総リーチが200万を越す世界有数のワインメディアブランドです。世界ワイン市場における独自の地位を築き、専門的な試飲会や見識の高いエキスパートの貢献により、オンライン、月刊誌共に、必読の内容を提供しています。

デキャンタは、1975年の創刊以来続く、出版業界での成功事例でもあります。